

No. 1240

街に緑と公園を

大都会のビルの間、遊び場を奪われた子供たち。金網に囲まれたビルの屋上であふれるエネルギーをぶつけあっています。大都市への急激な人工集中に伴い、生活環境の整備が著しく立ちおくれたしまった日本。都市における人口一人当りの公園面積は三・四平方メートルしかありません。危険な路上が、数少い子供の遊び場でもあるのです。

公害の街・川崎市の子供たちは、パレードをしながら「都市に緑と公園」をと呼びかけました。こうした都市環境の悪化に対処するために、明かるく住みよい生活環境を整備することを目的として、毎年十月を「都市緑化月間」と定めています。

川崎市では助役さんやミス川崎が、ツバキの苗を市民に配り、「緑と花の街づくり」への協力をお願いしました。

商 売 繁 盛

シーズン真盛り。さわやかな秋空の下、運動会が各地で行われている。東京練馬区にある運動会から慰霊祭まで取扱っている会社。運動会のシーズンを迎えて大忙がし。連日徹夜でフル回転。10月に入ってから、いままでに80ヶ所ぐらいの運動会を扱った。この会社では運動会の企画、構成から、進行まで担当し、すべて必要な品物は用意する。専門が別れており次々と運動会の準備を整えていく。運動会の前日、最後の会場の仕上げである。アルバイトの応援をも加えて30人近くが会場作りに当る主催者側と用意した品物の確認。競技に使う品物の確認は特に念入れに行う。後は当日の天気を祈るだけだ。

運動会当日は各競技の陰の力となって補助作業にてんてこまい。今日行われている競技はこの会社独自で考案したものばかりこの世界でも企画が勝負、それだけに作業にも熱が入る。かくして運動会は無事終了、参加者の6、7割が満足してくれば大成功だという。喜ばれて益々商売繁盛の“運動会屋”さんでした。